

# autocult

Magirus-Maybach KS 25 "Stuttgart" (ドイツ, 1929)

緊急車両

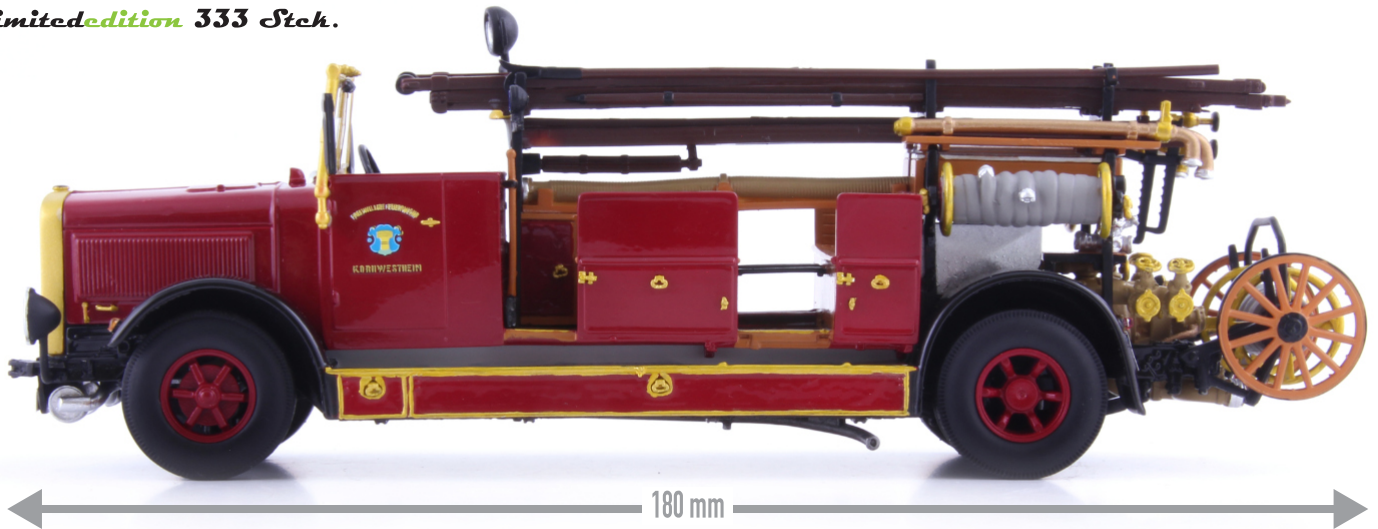
Scale 1/43

#12017

available

02/2023

Limited edition 333 Stk.



## 赤い宝石

マギルス社で「シュトゥットガルト」の名で通っている消防緊急車両は、1920年代末の消防技術の最先端を行くものであった。このモデルは、マギルスが開発した高性能ポンプを搭載し、循環冷却システムによりほぼ永久と言ってもいい耐用年数を実現している。

エンジンはマイバッハ製100馬力の6気筒で、「OS5」と呼ばれた。このトラックは、シュトゥットガルトの消防隊に5台納入されたことが知られている。1台はフリードリヒスハーフェンに渡り、フランクフルト・アム・マインの消防隊も1台注文した。その他、ポメラニア州シュトルプの消防団とコルンウェストハイムの自衛消防団に納品された。

ウルムにあるC.D. マギルス AGという工場は、当時2,000人近い従業員を抱え、

消防に関連するあらゆる機器の製造に携わっている大手企業であった。

マギルス社の工場が当時直面しなければならなかった困難は、技術的に最新のトラックの構造を熟知した上で、430リットル水タンクの付いた重量のあるポンプを後部に取付けることへの挑戦だった。これは、フロントに強力なエンジンを搭載したこと、ローフレームによる低重心化、4.5メートルという比較的大きなホイールベースなどによって解決された。また、狭い道でも通れるように、車幅をできるだけ小さくすることに重点を置いて設計された。運転席と助手席を含め、合計で14人の消防士が乗れるスペースを確保した。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de